



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

令和3年 12月号

報告

今月号では9~12月に行った3つの研修会を紹介します!

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 下北地区研修

~9月29日(水)むつ合同庁舎~

教育委員会職員や学校支援ボランティア関係者17名が参加して、地域学校協働活動について理解を深めました。今回はコロナ禍での開催ということで、職場や自宅で参加する完全オンライン形式での研修会となりました。

講義:「地域と学校の連携協働活動」

講師: 岐阜県白川村教育委員会事務局
社会教育主事 新谷 さゆり 氏



【講師から】

☆地域と学校がつながることは目的? 手立て?

○目的 → 地域に開かれた学校

- たくさんの地域の方が学校に来てくれる行事や活動を学校が考え実践
- 評価: 「つながる活動がたくさんできたか」「たくさんの方が学校に足を運んでくれたか」



○手立て(手段) → 地域とともにある学校

- 目的は、地域とともに将来の担い手を育てること
- 担い手を育てるために、主体的に地域の方が子どもたちとかわる
- 評価: 「子どもたちは"担い手"となる姿に近づけたか」「"担い手育て"に必要なつながりがあったか」

☆持続可能な"つながり"ポイント

- 学校、家庭、地域が共通の願いをもつ
- だれもが当事者意識をもって楽しく関わる
- 活動のみのつながりでは「連携・協働」ではない



【参加者の声】

・「大人が役割・責任をもって担い手を育てる」そうありたいと思います。「何する?」ではなく「なぜする?」とても大事なメッセージでした。

放課後子ども総合プラン指導員等研修会(後期)

~10月20日(水)むつ市中央公民館~

前期に続いて、各所属2名までの人数制限を設けて行いました。なかよし会と放課後子ども教室の指導員35名が参加して、自然の物を使った工作や様々な遊びを体験しました。

講義:「レッツエンジョイ 自然大好き」

講師: 青森県立梵珠少年自然の家
研修課長 新山 隆男 氏
社会教育主事 土岐 正純 氏



【講師から】

☆森のネックレス

- 自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びを味わうことができます。また、ひもを「結ぶ」という動きを習得することができます。



☆まつぼっくりけんだま

- 身近な自然素材を生かし、手作りの遊び道具を作って遊ぶ楽しさを味わうことができます。



☆ぼんチャレンジピック

- グループで取り組むことによって、仲間意識を高めることができ、グループ内でのコミュニケーションを深め、協力する態度を養うことができます。

主な種目:

スタートの合図で積み始め、ストップの合図で手をはなし、3秒間くずれずに立っている個数が記録となる。途中で崩れても、時間内なら何度でもやり直せる。1個1点で1分間チャレンジ。

空き缶積み



1人1つさいころを持ち、2人で同時にさいころを振って、2つのさいころで同じ目(ぞろ目)を何回出るかに挑戦しよう。ぞろ目は、1~6のどれでもよい。1分間に、ぞろ目が出た回数が記録。

ぞろ目出し



【参加者の声】

・身近にある自然物で工夫した作品ができ感心しました。「結ぶ」など、しっかり身に付けさせたいスキルを目標にもつことなど、普段活動する上でも参考になるお話がたくさんありました。

地域と学校のコラボレーション研修

~12月7日(火)むつ来さまい館~

2年ぶりに東京から講師を招き、地域とともにある学校づくりについて、教職員と学校支援ボランティア関係者が意見交流しながら学び合いました。

講義・演習

「地域とともにある学校づくり~これからの地域学校協働活動を考えよう~」

講師: 文部科学省

CSマイスター 井上 尚子 氏



【講師から】

☆社会に開かれた教育課程3つのポイント

- ①よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有します。
- ②これからの社会を創り出していく子どもたちに必要な資質・能力が何かを明らかにし、それを学校教育で育成します。
- ③地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現します。

☆協働は Win - Win の関係~支援から協働へ!~

協働とは、立場の異なる人たちが、同じ目的・ビジョンに向かって、対等な立場でともに活動すること!

- お手伝い → 自身の活動の一部
- 言われたから → 自主的・自発的
- 他人事 → 当事者意識をもって活動
- 負担感 → 自己有用感が生まれ、やりがいに
- 学校のため → 地域のためにも



~できることを、できるときに、できる人が楽しく~

☆全国各地で活動しているコーディネーターの声

- いろいろな立場の人たちが、同じ目的に向かって力を合わせ、つながりをもてるということは、なかなか経験できないこと。
- 必要とされていると感じられることは、何よりの幸せ。
- 子どもたちと接することで、パワーをもらえる。その時間が楽しい。

【参加者の声】

・様々な立場の方と交流できたのがよかった。今日だけのつながりではなく、今後のことも相談できるよい場となった。
・講師の実体験に基づくお話に、とても勇気をいただきました。